

事務事業名		表彰事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	18 市民生活に身近な安全の確保		区分		会計	款
	基本事業名	01 消防体制の充実		単年度繰返		01	09
根拠法令				※期間欄に開始年度を記入		01	02
所属		部課名 大船渡消防署		【開始年度】		事務事業区分	
		課長名 佐藤 礼		-		A 政策事業	
		係名 消防団係		- 年度~			
		担当者 村上 浩朗		電話 0192-27-2119			
				内線 433			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
①消防団員としての模範となるものを表彰し士気の高揚を図る。また、一般市民(個人又は団体)で消防に著しい功労があり他の模範とする者に対し、表彰又は感謝状を贈呈し、さらなる防火意識の高揚を図る。 実施時期は、消防演習と消防出初式に行っている。毎年11月中に各分団から内申があり、12月に表彰選考会を実施し、分団及び消防団員等の表彰を決定する。予算は賞状等で報償費より支出される。						総投入量(千円)	
						事業費	0
						人件費	0
						トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
①大船渡市消防演習時に、消防表彰式を実施、消防出初式において、無火災分団の表彰を行う。		ア	大船渡市表彰の種類
②建物火災における初期消火活動者に、消防団長感謝状を贈呈する。		イ	岩手県・県消防協会の種類
③3月県消防表彰式に参加予定。		ウ	一般表彰した団体(個人)
④大船渡市消防団表彰内規を見直し、一部改正をする。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		名称	
・分団、消防団員及び消防に著しく功績のあった団体(個人)を表彰する。		カ	消防団員組織数(分団数)
・県消防表彰式に参加する。		キ	消防団員数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		ク	市民(人口)
・消防団		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・消防団員		名称	
・市民(個人・団体)		サ	表彰された分団の割合
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		シ	表彰された消防団員の割合
・団員の士気を高める。		ス	これまでに表彰された団体(個人)の累計
・市民の防災意識への高揚を図る。		単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		%	
・消防団員の消防団活動に対する功績を讃えられることにより、その使命を再確認する。		団体(人)	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	25	36	50	39	52
	事業費計(A)		千円	25	36	50	39	52
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		人件費計(B)	千円	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,825	4,836	4,850	4,839
⑤活動指標								
⑥対象指標	ア	種	8	8	8	2	2	
	イ	種	13	13	13	13	11	
	ウ	人	1	0	3	4	3	
	カ	分団	12	12	12	12	12	
	キ	人	818	785	734	649	766	
⑦成果指標	ク	人	34,796	33,948	33,540	32,476	33,529	
	サ	%	100	100	100	100	100	
	シ	%	11	11	12	22	12	
	ス	団体(人)	42	42	43	43	47	

事務事業ID	1102	事務事業名	表彰事業
--------	------	-------	------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・消防団員として他の模範となるものを表彰し、士気の高揚を図るために実施。また、一般市民（個人・団体）の消防活動等の協力者に対して敬意を表した。 (大船渡市消防団表彰規程・昭和27年11月、大船渡市消防団規則・昭和42年12月)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・団員特別功労を積極的に行うことにより、団員の士気が高まった。 ・市民への一般表彰の積極的な実施により、防災意識の高揚が図られた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・特になし。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついていない      ▽ 理由・内容 ・消防団員の士気が高揚することで消防団の活性化につながり、消防力の充実に結びつくことから、やすらぎある安全なまちづくりの推進が実現する。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 ・この事業の対象である消防団は、非常勤の地方公務員である。また、消防団は、消防組織法第9条により市が設置運用しているものであることから、市の責任において実施することが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 ・消防団員の士気が高まり、市民の防災意識への高揚が十分期待されることから、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 ・表彰することによって、士気及び防火意識の高揚につながっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 ・消防団員の士気の高揚が期待できなくなる。 ・防火意識の低下が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 ・表彰内容について消防団にヒアリングを行い、表彰規程を改定し予算削減に取り組んだ。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 ・表彰状PCソフトを活用するなど、工夫し取り組んでいる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 ・消防団全体の士気が高まるとともに、市民全体の防災意識への高揚が期待されることから、公平・公正となっている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×	消防団の意向を考慮し、縮小に向け慎重に調整する。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	消防団員の士気向上、消防団活動への労苦に対し感謝や敬意を表すものであり、事業については継続が適当である。